

1. 研究主題・副題

学び合い、高まり合う授業をめざして
～対話的な学びから深い学びへ～

向栗崎小では、「対話的な学び」を「自分の考えや思いを友達と伝え合い、意見を交流したり議論したりすることで、新たな考え方に気づいたり、自分の考えを確かなもの・よりよいものとしたりするような学び」と捉えているよ



2. 研究の重点

授業力向上による学力向上

- 重点① 対話的学びを通した深い学びの実現
- 重点② 対話的学びのための聴く・話す力の充実

学びの土台づくりによる学力向上

- 重点③ 対話的学びのための土台づくり

3. 具体的な取り組み

授業力向上による学力向上

(1) 向栗崎小授業スタイルの実践

全教科で【M1 つかむ・M2 考える・M3 学び合う（話し合う→広げ・深める）・M4 まとめる】のスタイルで授業を進める。

(2) 「M3 学び合う」の充実

- ・めざす深い学びの姿の明確化
- ・めざす深い学びに迫る支援（深い学びにつながる対話の設定、深め合いカードの活用）

(3) ふり返り・適用題の工夫（算数科）

- ・ふり返りポイントの共有
- ・つけたい力がついたか見取る適用題の実施

(4) 聴く・話す力の向上

- ・根拠や理由とともに学習用語を使った話し合い活動の工夫
- ・聴く・話す力のゴールを設定し、系統性を意識した聴き方・話し方の指導

学びの土台づくりによる学力向上

(1) 学習規律の徹底

- ・内灘っ子の学習規律「授業の8つの約束」を土台とした「向っ子学習のやくそく」の実践

(2) 朝学習・スキルアップタイムの充実

- ・活用問題やミニ作文に取り組み、変化を見取る
- ・下学年の内容を含む漢字・計算に取り組む
- ・既習内容の定着確認のためのミニテストの実施

(3) 家庭学習の定着

- ・家庭学習の充実をはかるためのはまなす自学帳の実施